



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

受付日 2025年6月20日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市中区本町計画 新築工事

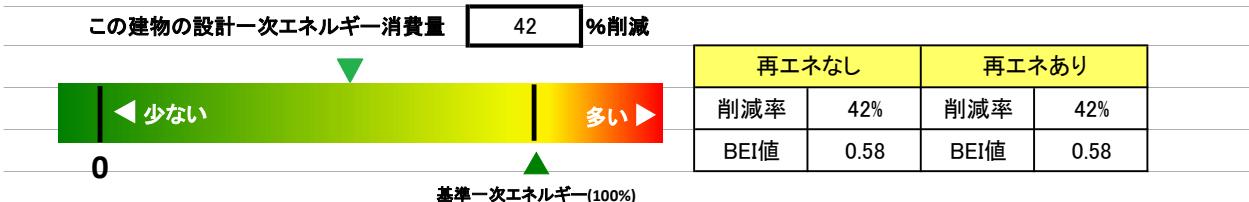
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当である。

③住宅部分でZEH-M Orientedの基準を満たし、非住宅部分は誘導基準相当としている。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆の建築建材をほぼ全面に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑯OAフロアを設置してレイアウト変更が容易。各住戸にインターネット回線。バリアフリーを超える配慮。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑯信頼性)

⑯主要な内装材の更新間隔を事務所20年以上、住宅25年以上としている。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑰生物環境 ⑱まちなみ・景観 ⑲地域性への配慮)

⑲開港記念会館の景観を邪魔せず、かつ重厚感のある外装材を用いることによって、横浜の歴史性を継承するように務めた。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入

CASBEE® 横浜 | 評価結果 | 7-025

CASBEE横浜2025年版v1.0



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

受付日 2025年6月20日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市中区本町計画 新築工事

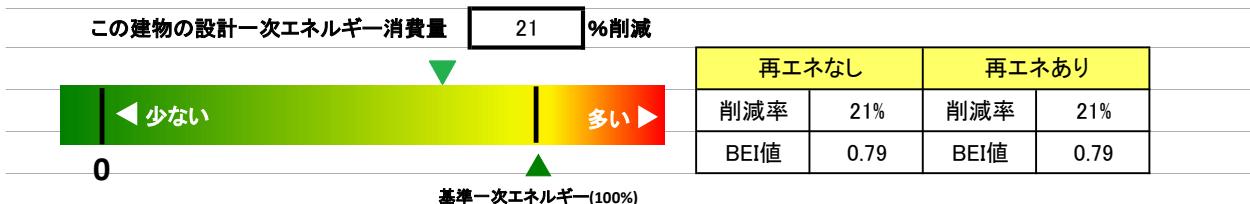
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当である。

③住宅部分でZEH-M Orientedの基準を満たし、非住宅部分は誘導基準相当としている。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級5 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑰部品・部材の耐用年数向上 ⑪信頼性)

⑯主要な内装材の更新間隔を事務所20年以上、住宅25年以上としている。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑮生物環境 ⑯まちなみ・景観 ⑰地域性への配慮)

⑯開港記念会館の景観を邪魔せず、かつ重厚感のある外装材を用いることによって、横浜の歴史性を継承するように務めた。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入



スコアシート

配慮項目	重点項目		建物全体・共用部	住居・宿泊部分	全体
	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境					
1 音環境					
1.1 室内騒音レベル	3.0	0.15	3.4	1.00	3.2
1.2 遮音	3.2	0.47	3.9	0.50	-
1 開口部遮音性能	3.0	0.90	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能	5.0	0.10	4.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音	3.0	0.06	3.0	-	-
2 溫熱環境					
2.1 室温制御	3.0	0.35	3.3	1.00	3.1
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.50	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境	⑤外皮性能	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.10	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.20	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-
3 光・視環境					
3.1 昼光利用	3.0	0.25	3.6	1.00	3.2
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.30	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.59	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.41	-
3.2 グレア対策	3.0	0.29	4.0	0.30	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.26	-
4 空気質環境					
4.1 発生源対策	4.0	0.25	3.3	1.00	3.3
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	0.57	-
4.2 換気	2.5	0.37	2.3	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	0.46	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.08	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.46	-
4.3 運用管理	3.0	0.06	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.50	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	0.50	-
Q2 サービス性能					
1 機能性					
1.1 機能性・使いやすさ	3.6	0.40	4.6	1.00	4.0
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.40	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.08	-
3 パリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.83	-
1.2 心理性・快適性	4.6	0.30	4.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.09	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.09	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.82	-
1.3 維持管理	3.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性					
2.1 耐震・免震・制震・振	3.0	0.30	-	-	3.0
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災	⑯耐震・免震	3.0	0.50	-
2 免震・制震・振性能	防災	⑯耐震・免震	3.0	0.80	-
2.2 部品・部材の耐用年数	3.2	0.30	-	-	-
1 軸体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-
2.4 信頼性	3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-
3 電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-
3 対応性・更新性					
3.1 空間のゆとり	3.1	0.30	2.6	1.00	2.9
1 階高のゆとり	3.0	0.08	2.2	0.50	-
2 空間の形状・自由さ	3.0	0.60	3.0	0.60	-
3.2 荷重のゆとり	3.0	0.40	1.0	0.40	-
	3.0	0.08	3.0	0.50	-

3.3	設備の更新性		3.2	0.83		-	-
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-
	2 給排水管の更新性		4.0	0.20		-	-
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30		-	3.4
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑯生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑯まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮	地域・まちづくり	⑰地域性への配慮	3.0	0.30	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		⑰地域性への配慮	3.0	0.50	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑯敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-
LR	建築物の環境負荷低減性					-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40		-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	3.6	0.20	-	3.6
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.8	0.50	-	3.8
	集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.2	0.28	-	-
	集合住宅の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.1	0.72	-	-
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	0.28	-	-	-
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
	集合住宅の評価		3.0	0.72	-	-	-
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	4.0
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
	2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		4.2	0.60	-	-	4.2
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	-
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		4.3	0.20	-	-	4.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		5.0	0.30	-	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-
	1 消火剤		-	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50	-	-	-
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.3
1	地球温暖化への配慮		3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	-
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
	2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
	3 交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
	1 騒音		3.0	0.50	-	-	-
	2 振動		3.0	0.50	-	-	-
	3 悪臭		-	-	-	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	-
	2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-

上記以外の重点項目			-	-	-	-
<事務所用途>			-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑯知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-
<住宅用途>			-	-	-	-
健康と安心			-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	4.0	-	-	-